

令和元年度調査地区一覧

(令和元年6月作成)

No	調査名	調査地区			調査の概要		
		地区名	関係県	関係市町村	期間	担当係	調査内容
1	環境影響評価指針調査（水環境に係る予測手法等検討調査）	上場地区	佐賀県	唐津市、玄海町	H29～R1	環境保全係	造成後のダムで水環境の変化（植物プランクトンの異常繁殖）が発生した際の環境保全措置や影響評価に係る調査、予測手法の手引き作成のため、ケーススタディの1つとして、藤ノ平ダムにおいて植物プランクトンの発生メカニズム等の分析、環境保全措置及び水質予測手法等を検討する。
2	地下水調査（地下水利用実態調査）	九州管内	管内全域	南阿蘇村他	H28～	地質官	農業用地下水利用地帯（21地帯）について、地下水の利用状況、保全管理に関する取組状況等を把握する。また、南阿蘇村等において、熊本地震後の湧水・井戸の回復過程を観測する。
3	地下水調査（地盤沈下調査）	有明海沿岸地区	福岡県 佐賀県	柳川市他2市 白石町他3市3町	H7～	地質官	地下水取水による地盤沈下を防止するための水源転換事業、揚水規制、観測等が実施されている有明海沿岸地域について、地下水利用・地盤沈下等の状況について情報を収集し、湧水時の地下水利用のリスク管理、地下水位上昇による影響など地下水環境の変化等について検討する。
4	地下水調査（地下ダム機能評価検討調査）	喜界島	鹿児島県	喜界町	H29～R1	地質官	供用中の地下ダムにおける各種観測データの収集・整理及び施設機能の評価等を実施し、施設の適切な機能保全のための評価手法や施設管理の合理化、効率化について検討を行う。
5	地すべり調査（農地地すべり計画設計基準改定に向けた基礎調査）	九州管内	管内関係県		H29～R2	地質官	土地改良事業計画設計基準・計画「農地地すべり防止対策」の改定に向けた基礎調査の一環として、今後普及が見込まれる調査・解析の新技術であるUAVレーザ測量について、地すべり地域での適用性を明らかにするため、現地実証調査を行う。
6	生物多様性保全調査（二次的自然における生物多様性保全手法検討調査）	鍋島東地区	佐賀県	佐賀市	R1～R3	環境調査係	土地改良施設の更新整備を見据えて、新技術の確立によるモニタリングの定着と、より効果的な環境配慮手法の手引き化による実効性ある魚類生態系配慮整備を推進する。
7	生物多様性保全調査（農地・農業用施設等における動植物被害対策手法検討調査）	宇佐地区 五ヶ瀬地区	大分県 宮崎県	宇佐市、五ヶ瀬町	H30～R2	環境調査係	野生動物の農地・農業用施設等への侵入被害発生状況を把握するとともに、現地モニタリング調査結果の比較等により対策手法を検討し、農業農村整備事業等で実施する農地・農業用施設への鳥獣害の防止対策等について検討を行う。
参考	農業・農村の有する多面的機能の理解増進に向けた取組	九州管内	全県		H23～	リスク対策調査官	農業・農村が食料の安定供給のみならず、持続的な生産活動を通じて国土保全等に重要な役割を果たしていること（多面的機能）への国民の理解を深めるため、消費者を対象に多面的機能を気づき、身近に感じてもらい、保全活動への積極的な参加を促すための普及・啓発活動を実施する。